藤本地区コミュニティ協議会便り No.158　　発行日　平成30年　5月22日（火）

藤の里だより 5月号

発行者　藤本地区コミュニティ協議会
TEL・FAX　38-1080

藤本相撲＆第12回藤本清流市場

藤の花が風に揺れ気持ちの良い日和の中、消防後援会主催により藤本相撲が開催されました。子どもの部では、慈恵学園と市比野小学校から児童１６名の参加、一般の部では地元力士・市比野地区ほか姶良からの飛び入り1名で総勢１２名での取り組みでした。赤ちゃんの初土俵入りが2組あり、終始にぎやかな一日となりました。　5月5日（祝）開催の市比野相撲にも地元力士5名が参加し大会に華を添えました。消防団員、評議員の皆様、早朝から運営、片付けまで有難うございました。

赤ちゃんの土俵入りは、加藤保さんと原口良淳さんのお孫さんでした。

12回目となった清流市場も大盛況でした。

藤本相撲の歴史　（樋脇町史より）

明治３７、３８年日露戦役に従軍した藤本校区出身者は８人で、凱旋された戦勝帰還祝賀相撲があったのが始まりと言われている。その後昭和９年３月に郷土の有志・青年団に相諮り産業振興（特に農業・畜産）を願い記念碑を建立し、馬頭観音を祭り毎年３月１８日に郷土行事として開催されてきた。その後には平成１２年農村公園（現滝公園）完成時に馬頭観音移設、相撲道場を設置し消防後援会主催により４月１８日前後の日曜日開催とし現在に至る。

藤本のよかとこ巡り「岩下仙峡探訪」

4月30日（月）藤本滝に次ぐ隠れた地域資源「岩下仙峡」の現地踏査が行われました。コミ副会長・地域活性化部長が中心となりガイド役の山口孝夫さんを先導に５名が岩下川から３時間かけて沢登りに挑みました。藤本滝は男性的・岩下の滝は女性的なイメージと話す参加者。「雄大な滝に感動、自然のパワーを感じられた」と意気揚々と報告してくださいました。

地域活性化へ繋げたいとのことでした。

践祚（せんそ）の滝

【花いっぱいまちづくり】

５月１１日（金）藤本にこにこクラブ活動の一環で花植えが行われました。２４個のプランターにマリーゴールドとベゴニア、合わせて８４本がきれいに植栽され、コミセン玄関前に並べられました。１３名の参加者で手際よく作業が進み、茶話会、体操等楽しく過ごされました。参加者の皆様、有難うございました。

【第4期地区振興計画書作り】

これまで「第3期藤本地区振興計画書」に基づき各事業が進められておりますが、
今年は第3期（平成26年度～30年度まで）地区振興計画書の改定を行う年です。
現在の計画の振り返り、評価・反省をもとに平成31年度～35年度までの計画書を作ります。
地区が一体となり藤本らしさが滲み出る計画書を作り上げましょう。
まずは、地区皆様の御意見等をお聞きしたい考えです。
ご協力をよろしくお願いいたします。

～今後の流れ～
＊全世帯へ意見集約（6/5締切） まとめ
＊6/10コミ役員会で意見集約結果報告
＊7/10第1回地区振興計画策定委員会開催
（上記委員会は4～5回開催予定）

第3期地区振興
計画書の表紙

『藤本にこにこクラブ』のお知らせ

★6月　8日（金）　１３：３０～

★七夕づくり・茶話会
（短冊に書くお願い事を考えてきてね）

介護予防カード・飲物をご持参ください。

『さくら会』のお知らせ

＊期日：6月15日（金）１０時～
＊場所：藤本コミセン
＊会費：２００円

介護予防カードをご持参ください。
送迎をいたしますので安心してご参加ください。

【小さな拠点づくりモデル地区】

国でも「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で「小さな拠点づくり」が進められていますが、市では、将来の人口減少が危惧される中、各地域が抱える課題を克服し「安心して暮らせるまちづくり」を実現・持続できる地域を形成するために色々な取組みを実施しています。
昨年度「小さな拠点基礎調査」として市民アンケート及び48地区コミへのヒアリングが実施され各地区の現状と課題をまとめた「地区カルテ」が完成し、それに基づき住民説明会が各地区で行われています。藤本地区では、5月6日（日）に説明会がなされました。

藤本地区のアンケート結果をもとに、現在及び将来の高齢化率、住民の居住継続意向、医療・買物施設や交通の状況、現在の地区コミの活動から見た地域の自立可能性を評価され 「小さな拠点モデル地区」に選定されました。
モデル地区として今年の活動は、5回程度の話合い活動で、市職員と専門業者が入り、地域の将来の在り方を検討していきます。
自分達のための活動です。皆様の益々のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6月の行事予定

3日：親和会公園草払い

8日：藤本にこにこクラブ　13:30～

10日：地域防災連絡調整会議　19：00～
　　コミ協役員会

15日：さくら会　　10:00～